

# 白滝発電所更新工事の紹介

電力事業本部 建設事業部 電力設備部 小宮 宗典 他

## ○キーワード

小水力発電、更新工事、固定価格買取制度（FIT）、EPC、地域振興、遠軽町、維持管理

## ○概要

2016年7月に、株式会社工営エナジーが管理する白滝発電所（北海道紋別郡遠軽町白滝）が完成、運転を開始した。自治体が運営していた発電所を民間に譲渡して更新工事を行い、固定価格買取制度（FIT）で売電する初めてのケースとなった。本稿では、新生白滝発電所の事業概要、EPC契約による更新工事、地域貢献、運転開始後の問題点と実施した対応策について紹介し今後の展望を述べる。

## ○技術ポイント

1. EPC 業務による早期の課題解決：日本工営内で業務分担を綿密に行い、EPC にて一括施工を実施したことで、行政手続きと工事期間を短縮した。
2. 地域振興に貢献：地元への雇用創出や学習型観光施設整備による地域振興に貢献した。
3. 運転開始後の問題点と得られた知見：運転開始後は、連続して来襲した台風による洪水被害、河川水が凍結するスノージャムなど様々な事業継続を脅かす問題が発生したが、適切な対応策を実施していく経験をとおして、維持管理における知見を得られた。

## ○図・表・写真等



写真－1 白滝発電所



写真－2 発電所内部（S型チューブラ水車、誘導発電機）



図－1 白滝発電所のイメージキャラクター「しらたきちゃん」



図－2 学習用パンフレット